



FLIGHT INSTRUMENT PANEL

プロ マルチ計器液晶パネル シミュレーション コントローラー
ユーザーガイド



フライト



ヨーク システム



ラダーペダル



インストルメント パネル



マルチパネル



ラジオパネル



スイッチパネル



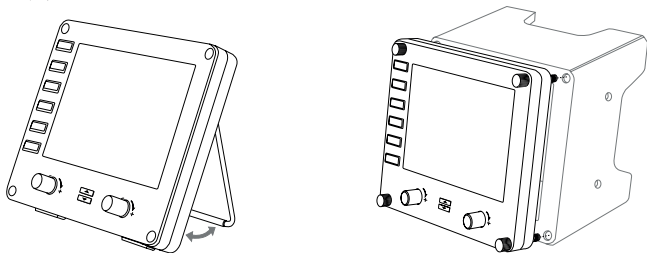
ロジクールGのモジュールで、コックピットをまるごと自分仕様でつくれます

はじめに: FLIGHT INSTRUMENTAL PANEL

ロジクールプロ マルチ計器液晶パネル シミュレーション コントローラー(以下、インストルメント パネル)をご購入いただきありがとうございます。インストルメント パネルはMicrosoftフライトシミュレータXとリアルタイムで連動し、様々なコックピット画面を表示し、コントロールを強化し、リアルなフライト体験をお届けします。

インストルメント パネルの設置

インストルメント パネルをスタンドアロンデバイスとして使用するには、ユニット背面のスタンドを広げます。



同梱の取り付けブラケットにパネルを固定することもできます。パネル隅の穴を通してネジをブラケットに挿入して締めます。ロジクール フライト ヨーク システムを既にお持ちの場合は、同梱のネジを使ってパネルとブラケットをヨークユニットの上部に取り付けることができます。

WINDOWS® 10、WINDOWS® 8.1、 WINDOWS® 7での設置

ドライバーのインストール

- 1 logiccool.co.jp/support/FIP/にアクセスして、お使いのオペレーティングシステム用の最新のドライバーとソフトウェアをダウンロードします。
- 2 デバイスを外した状態で、画面上の指示に従ってインストールを行います。
- 3 [ドライバーセットアップ]画面で、**プロンプト表示がされたら**、USBケーブルをパソコンのUSBポートに挿入してから、**[次へ]**をクリックします。



高度計

垂直速度

対気速度

高度

コンパス

旋回

フライト シミュレータXインストールメント ディスプレイをProフライト インストールメント パネルに割り当てる方法

フライト シミュレータX (FSX) 用の適切なプラグインをインストールしたら、次のFSX実行時に、ロジクールGパネルのFSX用プラグインのロードを試みているというメッセージが表示されます - この画面で[はい]をクリックします。

その後、LogiFlightSimX.exeを実行するかどうかを尋ねるWindowsセキュリティ警告が表示されます - この画面で[はい]をクリックします。

最後に、LogiFlightSimX.exeを信頼できるソフトウェアにするかどうかを尋ねるメッセージが表示されます - [はい]をクリックします。

パネル ソフトウェアをインストールしたら、FSXソフトウェアで各機能をコントロールするように、パネルボタンとコントロールが自動的に設定されます。FSXソフトウェアがパネルを認識しない場合、USBケーブルを取り外し、再度接続してください。

その他のシミュレータに関する詳細について、または質問がある場合は、サポートページ (logicool.co.jp/support/FIP) をご確認ください。

上記の6つの画面のいずれかを選択して、フライト インストールメント パネルで表示することができます。パネルの下部中央にあるカーソル上下ボタンを押し、画面表示をスクロールします。

追加ボタン

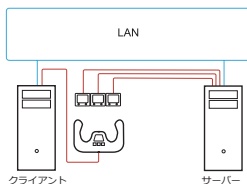
インストールメント パネルの左側にある6個のボタンによって、FSXでフライトを行う際に追加のcockpit画面またはディスプレイが開きます。各ボタンの右側に、対応するディスプレイの名前が付いています。マップ、メインパネル、ラジオおよびGPSの各ボタンにより、ほとんどの航空機の飛行時に、これらの画面またはcockpitパネルが開きます。パネル4およびパネル5ボタンにより、様々な画面またはパネルが開きます(航空機の種類によって異なります)。ボタンを1回押すとパネルまたは画面が開き、もう1回押すと閉じます。マップは、[OK]をクリックするかReturnを押してマップ画面を閉じます。

注: FSXが起動していない時に6つのボタンのいずれかを押すと、パネルディスプレイのオン/オフが切り替わります。

複数のインストールメント パネルをパソコンに接続し、様々なcockpit ディスプレイを同時に表示することができます。この際、各パネルにはシステムリソースが必要になります。- 以下の[詳細オプション]を参照して、複数パネル使用時のシステムパフォーマンスが最大になるよう接続してください。

詳細オプション

2台以上のパソコンがLANに接続されている場合、複数のインストールメント パネルを2台目のパソコンに接続することができます。2台目のパソコンには、1台目のパソコンで実行しているMicrosoft FSXからのフライト情報が表示されます。これは、FSX用のシステムリソースを解放するのに役立ちます。



定義

サーバー = FSXを実行し、メインのフライト コントローラーが取り付けられているパソコン。

クライアント = LANを介してサーバーにリンクされるパソコン。このパソコンにインストールメント パネルを接続することにより、1台のパソコンにかかるプロセス負荷を軽減します。

サーバー パソコン上での設定

- 1 FSXドライバーとFIPドライバーがインストールされ、実行されていることを確認します。
- 2 オリジナルリテールDVD1: FSX Deluxeエディション: SDKフォルダに移動し、Setup.exeを実行します。
- 3 隠しファイルを表示します。 Windows Explorerで (Vistaを実行している場合はAltキーを押す)、[ツール] > [フォルダーオプション]に進みます。 [表示]タブを選択します。 [詳細設定] > [隠しファイルと隠しフォルダー]セクションで、[隠しファイルと隠しフォルダーを表示する]を選択します。
- 4 SimConnect.xmlを見つけます
Vistaの場合: C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\FSX\XPの場合: C:\Documents and Settings\Application Data\Microsoft\FSX\<SimBase.Document...>セクションにセクションを追加します
<SimConnect.Comm>
<Disabled>False</Disabled>
<Protocol>IPv4</Protocol>
<Scope>global</Scope>
<Address>SERVER_MACHINE_IP_ADDRESS</Address>
<MaxClients>64</MaxClients>
<Port>SERVER_MACHINE_PORT_NUMBER</Port>
<MaxRecvSize>4096</MaxRecvSize>
<DisableNagle>False</DisableNagle>
</SimConnect.Comm>

注: サーバーマシンのIPアドレスを見つけ、[コントロールパネル] > [ネットワーク接続] > [ローカルエリア接続]で、上部のフィールドに入力します。 [サポート]タブを選択します。

注: 1024より大きいポート番号を選択します (8080以外)。 2001の使用をお勧めします。

注: クライアントマシンをセットアップする際は、サーバーマシンのIPアドレスとポート番号を書き留める必要があります。

クライアント パソコン上での設定

- 5 フライト インストールメント パネルのドライバーがインストールされ、正しく動作していることを確認します。
- 6 Microsoft Visual C++ 2005再頒布可能パッケージ(x86)をダウンロードし、インストールします。SP1バリエーションではありません！
- 7 サーバマシンからSimConnect.msiをコピーし、インストールします。サーバ上のデフォルト パス： C:\Program Files\Microsoft Games\Microsoft Flight Simulator X SDK\SDK\Core Utilities Kit\SimConnect\SDK\lib\
- 8 [マイ ドキュメント]にテスト用のドキュメントを作成し、SimConnect.cfgという名前を付けます

このファイルには以下の内容を含めます：

[SimConnect]

Protocol=IPv4

Address=SERVER_MACHINE_IP_ADDRESS

Port=SERVER_MACHINE_PORT_NUMBER

MaxReceiveSize=4096

DisableNagle=0

注：サーバマシンのIPアドレス、およびステップ4で選択したポート番号を入力します。

- インストールメント パネルを開始するには、サーバ上でFSXを起動します。ファイアウォール設定で、FSXがサーバとして機能することを許可する必要がある場合があります。このマシンへの接続に問題がある場合、ファイアウォールを一時的に無効にし、接続できるかどうかを確認します。
- クライアントパソコン上で、LogiFlightSimX.exe

(C:\Program Files\Logicool\Fsx Plugin\) を起動します

注：何も起こらない場合、タスクマネージャーを開き、LogiFlightSimX.exeが実行中プロセスのリストにあるかどうかを確認します。 SimConnectが見つからない、またはサーバパソコンに接続できない場合、LogiFlightSimX.exeは非常に短時間のみ実行し、ゲージは表示されません。これが発生する場合、ファイアウォールを無効にしてください。

ヒント: クライアントマシンが接続に失敗した場合、[詳細ネットワーク設定]を確認してください。[コントロールパネル] > [ネットワーク設定] > [ローカルエリア接続]の順に進みます。[プロパティ]を選択します。[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を強調表示して、[プロパティ]を選択します。[詳細]を選択します。[WINS]タブを選択します。[NetBIOS over TCP/IP を有効にする]を選択します。[OK]を選択、または開いたウィンドウを全て閉じます。

詳細については、www.fsdeveloper.comを参照してください (wiki > simconnect > remote_connectionにアクセス)。

テクニカルサポート

オンラインサポート: support.logicool.co.jp

製品サポート

ロジクールホームページでは、ユーザー登録や製品の最新情報、製品のアップデートファイル、最新のトラブルシューティング等を提供していますので、ぜひご利用ください。

<http://www.logicool.co.jp>

カスタマーサポート

株式会社ロジクール カスタマーサポートページをご覧ください。

support.logicool.co.jp



© 2017 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクール は、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。

WEB-621-000935.002

